

災害

VS

私、地域

～恐怖から身を守る備え～

平成23年7.15災害

災害が発生したとき 頼れるのは 自分とその周りの人だけ

災害時、まずは自分の身を自分で守ること(自助)が一番重要です。次に、自分の安全を確保した人たちの助け合い(共助)が大きな力になります。

これまでどこで起きた災害においても、最も多くの人命を救ったのは、地域の人たちの助け合いでした。

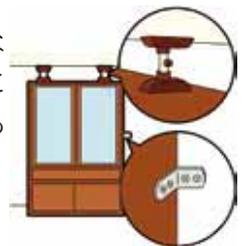
そのときのため、自分で行える備え、行動を把握しておきましょう。

VS 私(家族) ～備える～

地震には

家は耐震化、家具は壁等と固定、就寝時は枕元にスリッパと懐中電灯を準備しておきましょう！

在宅時に災害に遭う確率が高いことから、家にいるときを想定した備えが重要です。就寝中に地震が起きた場合、十分な対策をしていないと、住宅、家具は凶器となります。阪神・淡路大震災では死者全体の約8割が家屋の倒壊、家具などの転倒による圧迫死でした。また、ガラスなどが床に落ちたり、暗い中を移動する必要がありますので、就寝時は枕元にスリッパと懐中電灯を用意しておくことも重要です。



町では木造住宅耐震診断を行っています

昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅を対象に岐阜県木造住宅耐震相談士が訪問し、無料で耐震診断を行います。詳しくは、9ページの「役場からのお知らせ」をご覧ください。

